

**2013年3月期
(FY2012)
連結決算報告**



大幸薬品

**2013年5月
大幸薬品株式会社**



- **感染管理事業が大幅伸長（前期比150%）**
- **増収増益を継続（利益：前期比200%）**
- **株主還元を強化（総還元性向45%）**

連結經營成績

連結経営成績サマリー

➤ 感染管理事業の大幅伸長により連結業績拡大

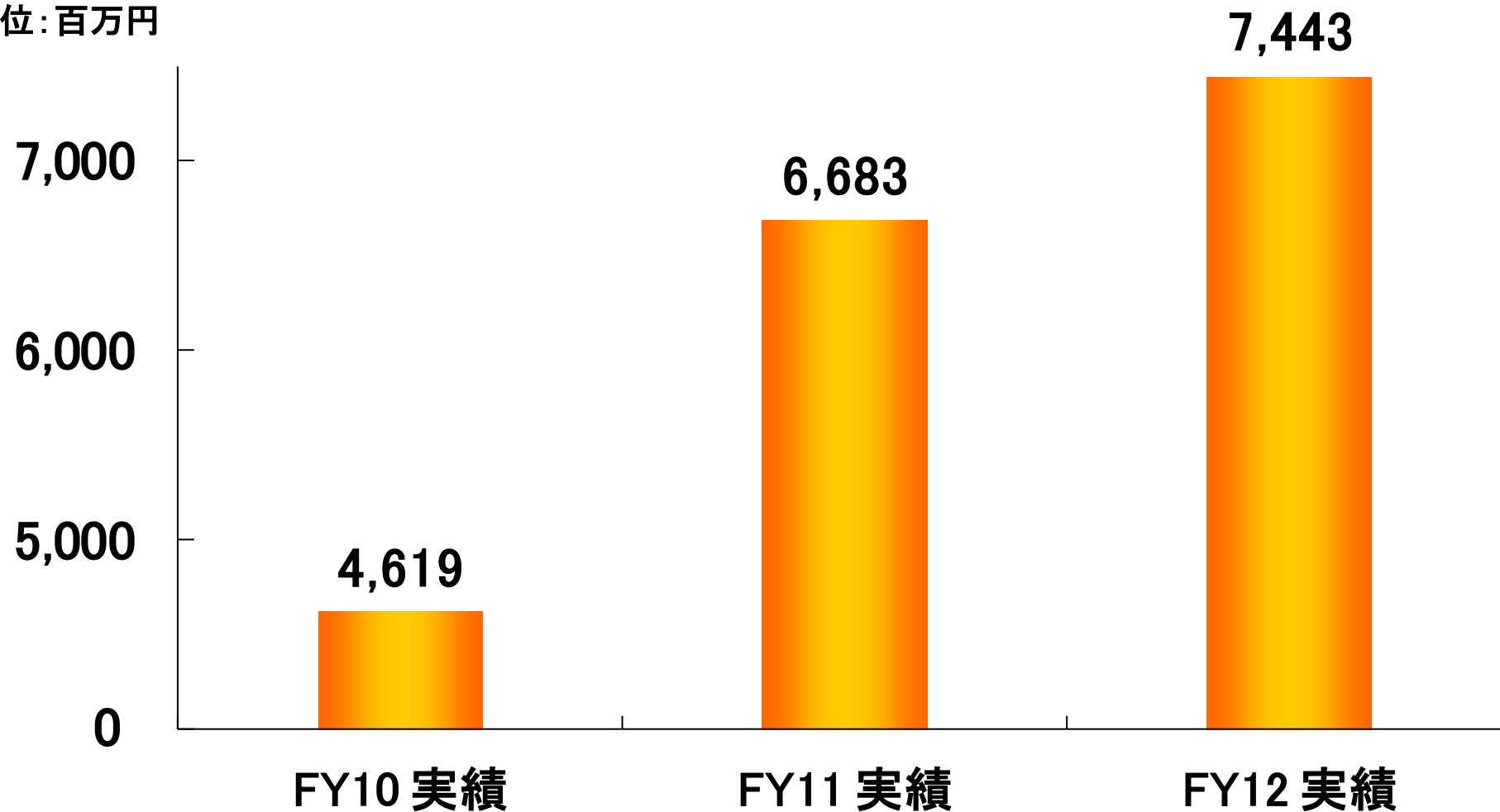
単位: 百万円

	FY11 実績	FY12 実績	増減	増減率	増減要因等
売上高	6,683	7,443	759	11.4%	医薬品) 国内減少(前期比36百万円減) 感染管理) 大幅増加(前期比798百万円増)
売上原価(※) (売上高比率)	2,194 (32.8%)	2,435 (32.7%)	241	11.0%	増益、売上総利益率0.1P改善 (医薬品の利益率低下を感染管理の上昇でカバー)
売上総利益 (売上高比率)	4,489 (67.2%)	5,007 (67.3%)	518 (+0.1P)	11.6%	医薬品: 前期から繰越したコスト影響(変動賞与引当金・ 修繕費等)、海外売上比率上昇等から利益率低下 感染管理: 利益率の高いゲル剤の売上高伸長
販売費及び 一般管理費	3,974	3,886	△87	△2.2%	効率的な組織運営によりコスト減少
営業利益 (売上高比率)	515 (7.7%)	1,120 (15.1%)	605	117.7%	感染管理の増益が寄与
経常利益 (売上高比率)	558 (8.4%)	1,211 (16.3%)	652	116.8%	為替差益を計上
当期純利益 (売上高比率)	482 (7.2%)	1,037 (13.9%)	555	115.2%	当期特損111百万円(※)(前期特損144百万円) ※固定資産売却損40百万円、割増退職金70百万円 法人税等及び法人税等調整額が増加
ROE	5.7%	11.4%			
EPS(円)	37.23	81.31			

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

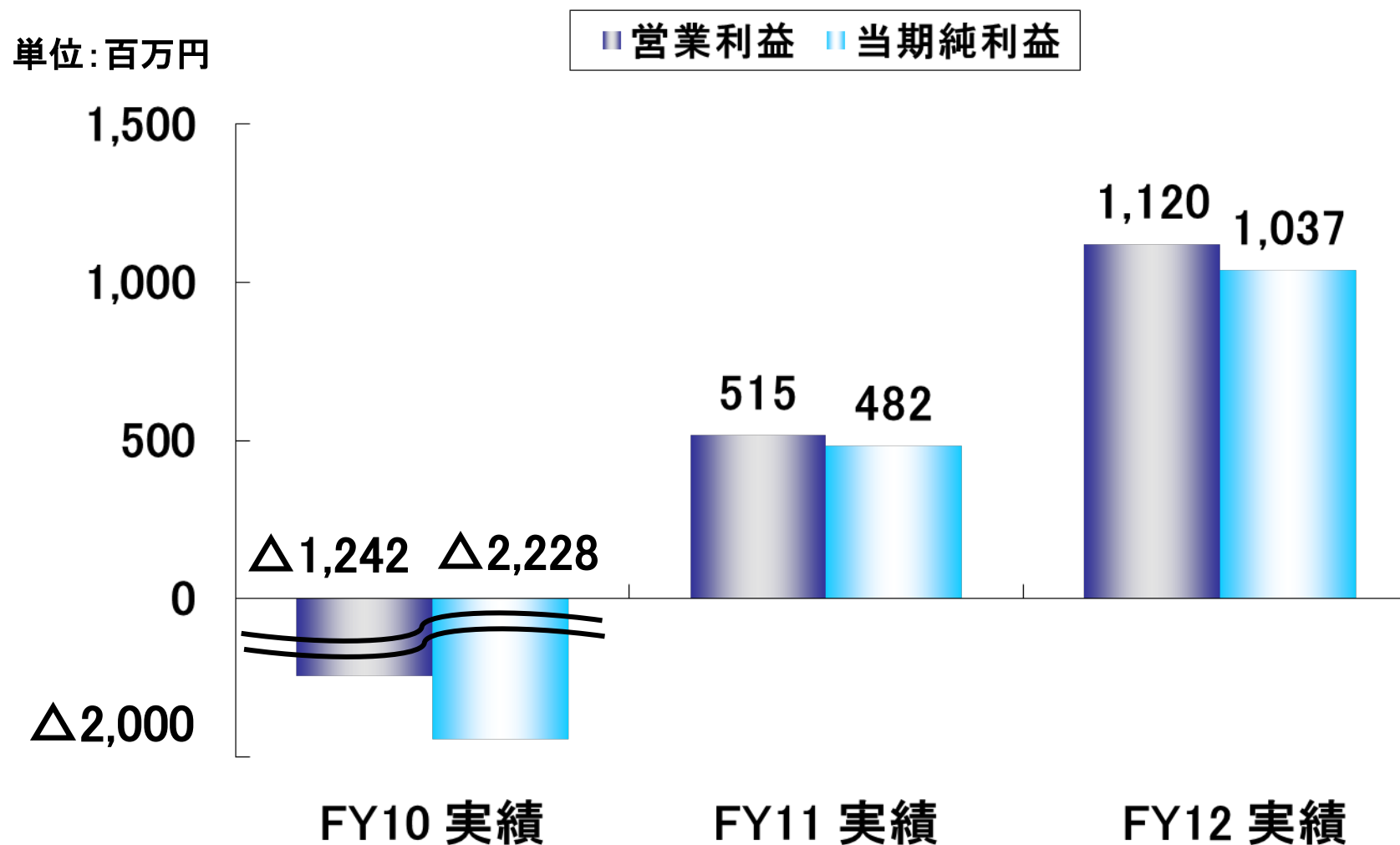
➤ 感染管理事業の牽引により増収を継続

単位：百万円



連結営業利益・当期純利益推移

➤ 営業利益、当期純利益ともに前期比200%



販売費及び一般管理費

▶ 効率的な組織運営によりコスト効率改善

単位：百万円

	FY11 実績	売上高 比率	FY12 実績	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	1,519	22.7%	1,499	20.1%	△19	△1.3%	
広告宣伝費	970	14.5%	966	13.0%	△4	△0.5%	
販売促進費	405	6.1%	401	5.4%	△4	△1.1%	
運送費	142	2.1%	132	1.8%	△10	△7.2%	倉庫集約による保管料圧縮
人件費	1,470	22.0%	1,371	18.4%	△98	△6.7%	生産性向上による要員削減
その他経費	984	14.7%	1,015	13.6%	30	3.1%	オフィス(東京)賃借料の増加等
研究開発費	205	3.1%	198	2.7%	△7	△3.8%	
支払手数料	213	3.2%	210	2.8%	△2	△1.0%	
計	3,974	59.5%	3,886	52.2%	△87	△2.2%	

連結財政状態

➤ 総資産増加するもROAは上昇

単位：百万円

	FY11 期末	FY12 期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	8,712	9,474	761	8.7%	
現金及び預金	4,661	5,173	511	11.0%	(現預金増加内訳)
売上債権	2,443	2,638	195	8.0%	EBITDA 1,371百万円 売上債権の増加 △185百万円
たな卸資産	1,352	1,398	45	3.4%	固定資産取得支出 △211百万円 配当金の支払 △194百万円
固定資産	3,548	3,542	△6	△0.2%	自己株式取得 △285百万円
資産合計	12,261	13,016	755	6.2%	
流動負債	2,405	2,502	97	4.0%	
仕入債務	387	444	57	14.8%	
固定負債	1,072	1,035	△36	△3.4%	
純資産	8,783	9,478	695	7.9%	利益剰余金増加 842百万円 自己株式取得 △281百万円
負債純資産合計	12,261	13,016	755	6.2%	
自己資本比率	71.3%	72.4%			
ROA(※)	4.8%	9.6%			

※ROA＝経常利益／総資産

連結キャッシュ・フロー状況

▶ 営業CF大幅増加に加え株主還元も強化

単位：百万円

	FY11 実績	FY12 実績	主な要因	
営業CF	533	1,092	EBITDA 売上債権の増加	1,371百万円 △185百万円
投資CF	△117	13	定期預金増減 固定資産取得支出 固定資産売却収入	177百万円 △211百万円 54百万円
財務CF	△24	△451	配当金の支払 自己株式取得	△194百万円 △285百万円
現金・同等物換算差額	△10	39		
キャッシュ増減(※1)	380	679	FY12は台湾子会社の連結除外による キャッシュの減少14百万円含む	
キャッシュ期末残高	4,454	5,133		
EBITDA(※2)	773	1,371	営業利益 減価償却費	1,120百万円 250百万円

(※1) キャッシュ増減 = 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

(※2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

セグメント情報

セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業 : 売上構成比の変化等により利益率低下
- 感染管理事業 : 売上拡大により損益面大幅改善

単位:百万円

	売上高			営業利益			
	FY11 実績	FY12 実績	増減率	FY11 実績	利益率	FY12 実績	利益率
医薬品事業	5,085	5,049	△0.7%	2,102	41.3%	1,859	36.8%
感染管理事業	1,576	2,374	50.6%	18	1.2%	645	27.2%
その他事業	21	19	△9.9%	△21	-	△19	-
全社(※)	-	-	-	△1,585	-	△1,363	-
連結合計	6,683	7,443	11.4%	515	7.7%	1,120	15.1%

(※)全社に係るコスト(主に管理部門コスト等)

➤ 止瀉薬市場の停滞により主力製品が減少



正露丸



セイロガン糖衣A



ピシャット錠



樋屋奇応丸

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

	FY11 実績	FY12 実績	増減	増減率
正露丸	1,907	1,761	△145	△7.6%
セイロガン糖衣A	2,131	2,052	△78	△3.7%
その他(※)	192	205	13	7.0%
計	4,231	4,020	△210	△5.0%

(※) 止瀉薬『ピシャット錠』、小児五疳薬『樋屋奇応丸』、整腸薬『ラッパ整腸薬BF』等

当社の国内止瀉薬市場シェア(店頭小売価格ベース)

出所: (株)インテージ 調査データ

	FY11	FY12	増減
市場シェア(※)	52.5%	51.2%	△1.3P

(※) シェア内訳: 『正露丸』、『セイロガン糖衣A』、『ピシャット』ブランド

セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

➤中国・香港市場が堅調に推移(日中関係影響見られず)

地域別売上高

単位:百万円



正露丸



セイロガン糖衣A

	FY11 実績	FY12 実績	増減	増減率
中国・香港	729	882	153	21.0%
台湾	119	119	0	0.3%
その他(※)	5	26	20	364.3%
計	854	1,028	174	20.4%

(※) その他の対象エリア:
アメリカ、カナダ、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、モンゴル

セグメント別事業概況(感染管理事業)

- 営業施策強化等により、一般用が大幅伸長、業務用も堅調
- 感染症(ノロウイルス、インフルエンザ等)流行も影響



クレベリン スプレー



クレベリン ゲル



クレベリンG スティックタイプ

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

	FY11 実績	FY12 実績	増減	増減率
液剤	134	279	145	108.3%
ゲル剤	1,346	1,894	548	40.8%
クレベリン発生機 (※1)	89	200	111	124.7%
その他 (※2)	7	0	△6	△94.1%
計	1,576	2,374	798	50.6%

(※1) 低濃度二酸化塩素ガス発生装置

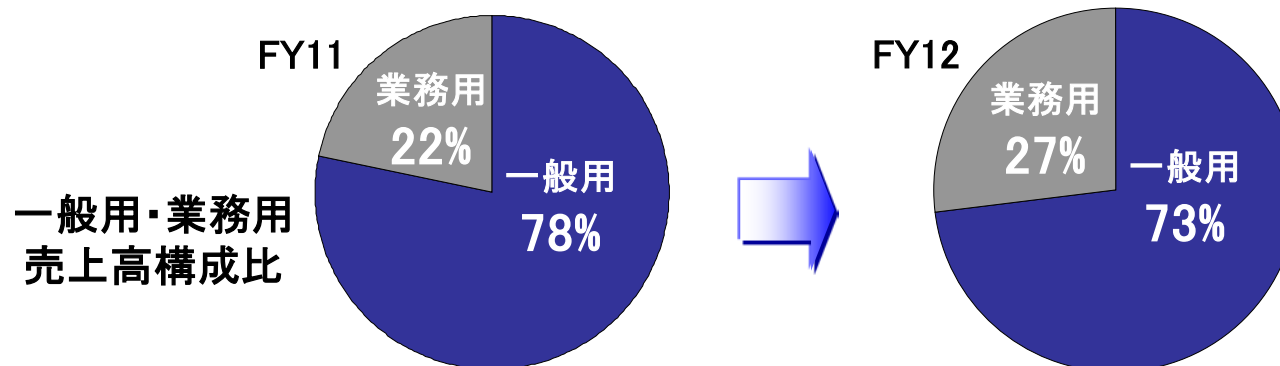
(※2) キット製品、周辺製品(マスク、ハンドジェル)



車両用クレベリン



クレベリン発生機
リスパス NEO



セグメント別事業概況(その他事業)

▶ 木酢液を配合した入浴液、園芸用木酢液等を製造販売



木酢入浴液



木酢液

製品売上高

単位:百万円

	FY11 実績	FY12 実績	増減	増減率
木酢製品等	21	19	△2	△9.9%

通期業績予想

通期業績予想(連結業績サマリー)

➤ 売上高、営業利益は前期水準を堅持

単位:百万円

	FY12 実績	FY13 予想	増減	増減率	主な前提
売上高	7,443	7,500	56	0.8%	想定為替レート:1ドル90円
医薬品	5,049	5,048	△0	△0.0%	国内減少、海外増加を前提
感染管理	2,374	2,433	58	2.5%	感染症流行無くとも前期水準堅持
その他事業	19	18	△1	△5.8%	
売上総利益 (売上高比率)	5,007 (67.3%)	5,000 (66.7%)	△7	△0.2%	海外医薬品の構成比上昇
販売費及び 一般管理費	3,886	3,849	△37	△1.0%	人件費減少等
営業利益 (売上高比率)	1,120 (15.1%)	1,150 (15.3%)	29	2.7%	前期水準堅持
経常利益 (売上高比率)	1,211 (16.3%)	1,150 (15.3%)	△60	△5.0%	
当期純利益 (売上高比率)	1,037 (13.9%)	900 (12.0%)	△137	△13.2%	法人税等増加 (前期は繰越欠損金が存在)
設備投資	217	299	主に医薬品事業に係る生産設備等		

通期業績予想(販売費及び一般管理費)

➤ 効率的な運用により前期水準を維持

単位:百万円

	FY12 実績	売上高 比率	FY13 予想	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	1,499	20.1%	1,513	20.2%	13	0.9%	
広告宣伝費	966	13.0%	871	11.6%	△95	△9.8%	FY12は4Qに追加
販売促進費	401	5.4%	480	6.4%	78	19.6%	医薬品、感染管理ともに販促強化
人件費	1,371	18.4%	1,268	16.9%	△103	△7.5%	FY12は業績連動賞与引当金が増加
その他経費	1,015	13.6%	1,067	14.2%	51	5.1%	
研究開発費	198	2.7%	213	2.8%	15	7.7%	二酸化塩素関連が増加
支払手数料	210	2.8%	220	2.9%	9	4.7%	
計	3,886	52.2%	3,849	51.3%	△37	△1.0%	



大幸薬品

＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。